指導案⑬

**地震防災　学習指導案**

年　月　日（　）第　校時

学年　　小学校全学年

児童数　　　　　　　名

場所　教室

指導者　　　　全教職員

**１　題材名**　「体験談を絵にしよう」

**２　題材について**

　（１）児童の実態

（小学校の立地、児童の人数、特徴などを書く。）

　（２）題材設定の理由

　　　地震防災の学習は以下の内容を基本とする。

* ハザードの理解（なぜ地震が発生するのか）
* 地震への備え（ハードとソフト）
* 地震発生時の対応（直後の身を守る方法から避難、救出・救助、支援、避難所生活など）

これらの分野に関する学ぶ知識や技能は、こどもたちの学びたいという気持ち、興味・関心があるからこそ身につくものである。こどもたちに災害の怖さ、命の大切さ、助け合いや思いやりの素晴らしさ、備え、救出・救助、医療、ボランティア、支援、友だちのことなど、災害時の様々なシーンについての文章を読ませたり、実際の体験者の語りを聞かせたりした後、こころの中に生まれたイメージを絵画で表現させたい。

こころを揺さぶる学習が、こどもたちの災害と防災を学びたいという気持ちを育てていく。

**３　評価規準**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 集団活動や生活への関心・意欲・態度 | 集団の一員としての思考・判断・実践 | 集団活動や生活についての知識・理解 |
| 評価規準 | 　自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心を持ち、自主的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。 | 　楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。 | 　楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの大切さ、そのための健全な生活や自主的な学習の仕方などについて理解している。 |

**４　事前の指導**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 児童の活動 | 指導上の留意点 | 目指す児童の姿と評価方法 |
|  |  |  |

**５　本時のねらい**

　災害の体験談を絵画で表現する活動を通して、自分を災害の場に置くという疑似体験をさせ、災害の本質を考えさせる。

**６　本時の展開**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 児童の活動 | 指導上の留意点 | 目指すこどもの姿と評価方法 |
| 導入 | 教師の説明、指示を聞き、準備する。 | 　こどもたちの発達年齢、読解力に応じて教材（災害に関する文章や語り部の体験談）を選ぶ。　文章や語りの内容は、教訓や知恵を伝えるものだけではなく、感情（喜怒哀楽）を揺さぶるものや、読み手が「戸惑い」を覚えるような内容のものを選ぶとよい。 | 教師の説明・指示を聞けているか。 |
| 展開 | 　読んだ内容、聞いた内容を考えながら、絵に表現する。 | 　読んだ内容、聞いた内容を絵に表現させる。 | 　 |
| まとめ | 教師のまとめを聞く。 | こどもたちの絵にコメントを述べる。良しあしを述べるのではなく、教師の率直な感想を言う。 | 　コメントを集中して聞けているか。 |

**７　事後の指導**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 児童の活動 | 指導上の留意点 | 目指す児童の姿と評価方法 |
|  | 全員の絵を教室に掲示し、だれもが鑑賞できるようにする。 | 他者の描いた絵に関心を持っているか。 |

以上